

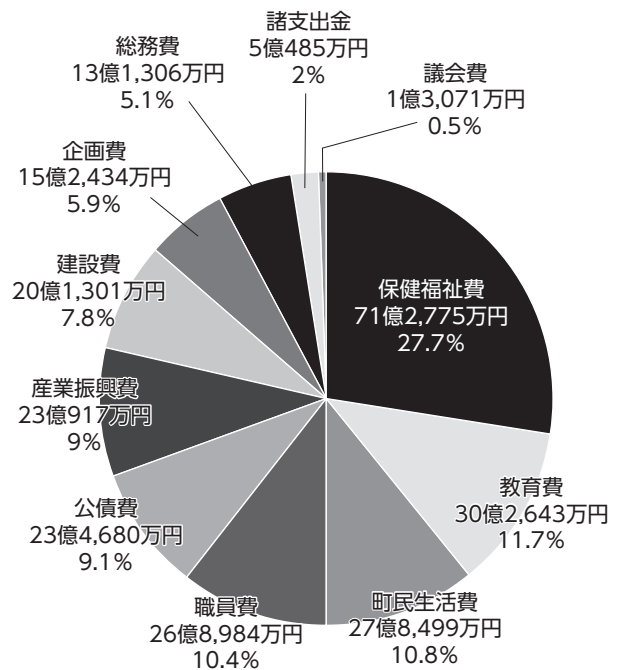
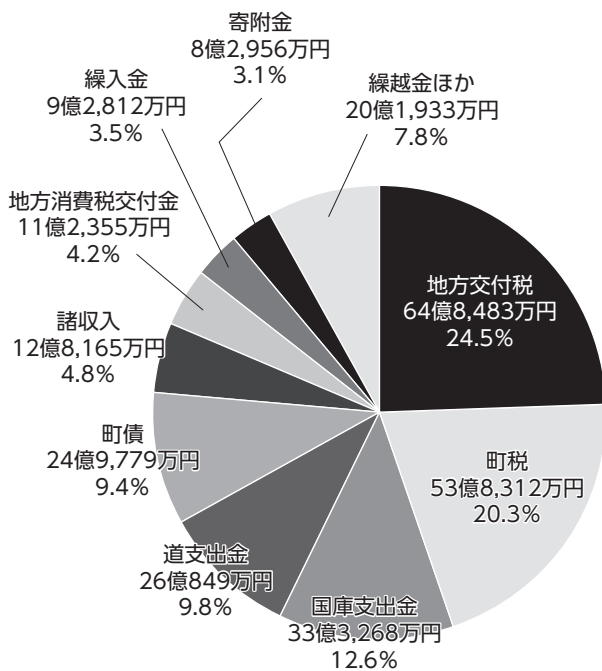
令和6年度
決算審査
ハイライト

子どもたちの健康を守る エアコン設置

一般会計の決算額

歳入総額 264億8,912万円

歳出総額 257億7,095万円



物価高騰や不安定な国際情勢の影響を受け、町民生活に厳しい状況が続く中、本町は柔軟に対応し、生活の安定と将来を見据えた施策が進められた。

十勝地方を襲った記録的大雪では、農業者への支援としてビニールハウス等撤去費用の助成が迅速に行われ、除雪対応も素早く進められた。町民生活を守る力となり、職員の尽力に敬意を表する。

教育分野では、タブレット端末の活用や小学校へのエアコン設置が進められ、子どもたちの学びと健康が守られた。クーリングシエルトの整備や個別避難計画の推進、福祉・医療・介護体制の充実も進展した。

財政は黒字を確保し健全性が維持されており、今後も町民に寄り添った行政運営を期待し、賛成討論とする。

賛成
大雪被害の迅速対応を評価

柴田 秀樹 議員 (創成会)

定例会最終日、令和6年度決算認定に対し、賛成の討論がありました。その内容を要約して掲載します。

決算審査で討論

概要説明

Q 今後の社会保障関係費の見通し、公共施設の維持更新・長寿化の課題は。

A 社会保障関係費は今後も増加傾向と見込んでいる。公共施設は、国の補助金や起債を活用し、計画的に長寿化を進めていく。

総務費

Q デジタルデバインド対策は。

A 町独自の対策は行っていない。シニア学級など要望があれば対応する。

企画費

Q 地域交流事業の増加の要因とその効果は。

A 町内会のイベントに係る補助対象を拡大し、申請が増加。コロナ禍で減った地域交流が盛んになった。

保健福祉費

Q 保育士の配置希望人数に対して不足数は。

A 22人

Q 中学1・2年生へインフルエンザワクチン接種助成をした場合、町の負担額は。

A 約75万円

Q こども家庭センターへの相談内容は。

A 育児相談等64%、養護相談等22%、しつけや不登校相談等11%、その他非行の相談も増えている。

町民生活費

Q ハチ駆除の対応基準は。

A 危険度や場所に応じて優先度を設定。住民安全を最優先に対応する。

産業振興費

Q 甜菜の生産状況は。作付面積200畝減、栽培戸数は10戸減。

Q モンベルパートナーシップの効果は。



牛乳飲んで元気いっぱい！(よつ葉ミルクフェスタ)

Q 東大雪エリアを紹介する冊子で、100万人を超える会員に紹介され、PRができています。

A 東大雪エリアを紹介する冊子で、100万人を超える会員に紹介され、PRができています。

建設費

Q 公営住宅の申込状況は。

A 申込99件、入居23件。取り止め6件のうち5件は子育て世帯向け家賃補助住宅に入居。

Q 公園にあるバスケットゴールの安全性は。

A 11公園12施設を毎年点検。必要に応じて修繕していきたい。

教育費

Q 小中学校の特別教室や体育館などのエアコン整備の方針は。

A 現時点で具体的な考えはないが、先行している他自治体を調査し、検討していきたい。

Q 文化センター長寿命化事業手法の検討結果は。

A 築40年を迎えるに当たり長寿命化と今後の文化センター像を検討した。財政負担の考慮も必要。

水道事業会計

Q 教育相談体制及び教育支援センターの状況は。

A 心の教室相談員、スクールカウンセラーなどを各小中学校に配置し、「総合教育相談窓口」を設置。教育支援センターはチラシ配布で周知を検討。

職員費

Q 時間外勤務が減った要因は。

A 職員を増やしたことや、人事異動が小規模だったため。DX化で事務の簡素化につながった。

Q 管更新費用の要求に対する国の補助は。

A 100%

総括質疑

Q 認可保育園を希望したが、認可外に入園したケースは。

A 年度当初はいない。認可外に入園した場合、町が助成し保護者負担はない。

Q マイナンバーカード返納数と理由は。

A 29件。使用目的がない、紛失時の不安が6件。その他は紛失後、発見したもの。

音子ちゃん(まちの台所)



この他にも
たくさん
の
質疑
があり
ました

